

## II-4

特集 男性型・女性型脱毛症の治療とケア—現状と未来—

女性型脱毛症  
毛髪に加齢変化とヘアケア

長瀬 忍

花王株式会社ヘアケア研究所

加齢に伴う毛髪の変化として白髪や脱毛症の進行はよく知られているが、それ以外にも美容的な観点からさまざまな変化が報告されている。たとえば、ハリコシ感やツヤ感の低下、また黒髪の髪色変化などである。これらの変化は、白髪や脱毛症ほどその実態はよく知られていないが、当事者にとっては生活の質(QOL)が低下する悩みの原因となる。本稿では、加齢により発生・増加する消費者の髪悩みと、その原因となるさまざまな毛髪の変化、さらに対応するヘアケア技術について美容的な観点から概説する。

## はじめに

加齢はヒトにさまざまな影響を及ぼすが、ヒトの毛髪も加齢によって変化する。毛髪に加齢変化のうち、最も深刻な悩みは脱毛症と白髪といえよう。これらは深刻なだけに多くの研究がなされ、さまざまな治療法や対処法が提案されてきている<sup>1,2)</sup>。毛髪に加齢変化はこれだけでなく、髪のハリコシ感の低下やツヤ感の低下、さらに最近、白髪だけでなく黒髪の色も変化することが見出されている<sup>3,5)</sup>。これらの毛髪変化もそれぞれ悩みの原因となりうる。脱毛症や白髪ほどは深刻な悩みではないかもしれないが、無視できない悩みであり、消費者や患者のQOLを低下させる。

今回の特集は「脱毛症の治療とケア」だが、本稿では脱毛症そのものではなく、脱毛症と相前後して加齢に伴い実

感される毛髪の変化と、それに起因する悩みについて簡単にまとめる。筆者らは、10代前後から70歳までの女性を対象に、毛髪に加齢に伴ってどのように変化するのか、実態調査を行った<sup>5,8)</sup>。本稿では、加齢に伴う毛髪の変化として、ハリコシ感の低下、ツヤ感の低下、髪色の変化に着目し、それぞれの髪質変化と、その原因、さらに対処方法としてケア技術の例を紹介する。

## ハリコシ感の変化

10～70歳の日本人女性230名を対象に毛髪の実態調査を行った。毛髪のハリコシ感について、「ハリコシあり」～「ハリコシなし」までを5段階で評価した結果を図1に示



図1 ハリコシ感の年齢依存性変化

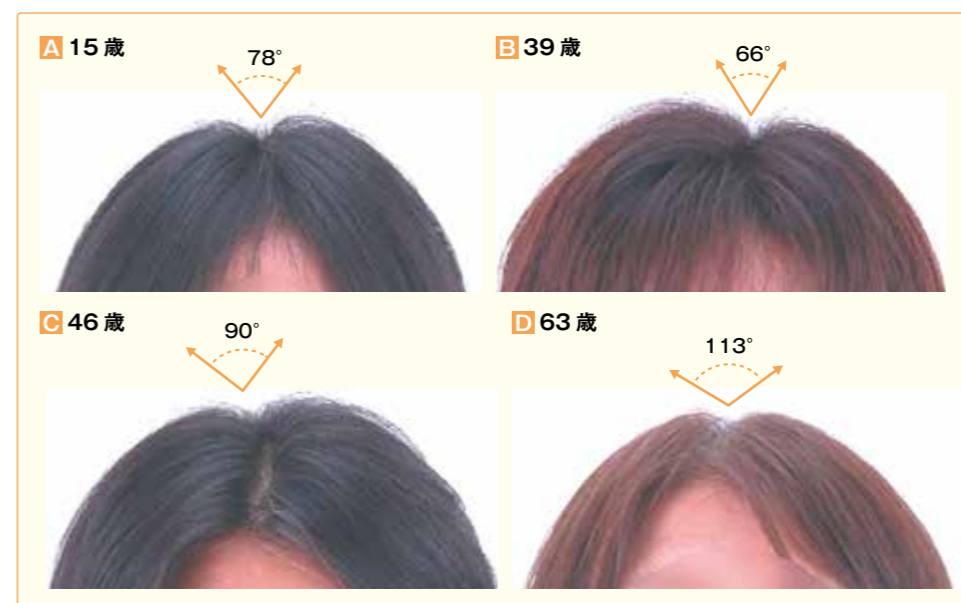


図2 頭部分け目の開き角度の比較

す。ハリコシ感の評価は、手で毛束を掴み押し曲げるときの弾力感や、頭上の髪分け目の開き角度を目視評価することにより行った。30代まではハリコシのある人が半数以上を占めるのに対し、とくに40代後半以降は、ハリコ

シのない人が急激に増加する様子が観察された。

ハリコシ感の加齢変化を端的に表すため、10～60代の髪分け目の開き角度の典型的な例を図2に示す。この例では、30代までは分け目の開き角度が比較的小さいの